

令和6年度第2回柏原市議会定例会 請 願 文 書 表

受 理 年月日	令和6年5月23日	紹 介 議 員 の 氏 名	鶴田 将良、山本 修広、峯 弘之、榊田 和之
受 理 番 号	請 願 第 6 - 1 号	請 願 者 の 住 所 及 び 氏 名	持続可能な柏原を考える会 共同代表 XXXXXXXXXX ほかに4人
件 名	柏原市議会議員の議員定数の削減を求める請願		
請 願 の 要 旨	1. 要旨 柏原市議会議員の定数を、行政改革の一環として4名削減を求めます。 2. 理由 柏原市議会では、令和6年3月22日、議員定数を2名削減し14名とする議員提出 条例議案を賛成5反対10で否決されました。 現在の柏原市の財政状況、2025年問題に提唱される高齢者比率の増加に伴う経 費の増大、光熱費・人件費の高騰、人口減に伴う市税収入の減少等々の財政状況 及び行政改革を考えると、市民の税金から報酬を受け取っている市議会議員におい ても、経費削減に向けて一定の努力をし、市民生活を下支えする財源の捻出に協力 するのは当然のことではないでしょうか？ 人口が類似する市よりも多い議員でなければならない合理的理由は全く見当たりま せん。 柏原市は市の面積は約25km²のうち3分の2が山間部であり人口に比べて行政面積 が広大であるわけでもなく、一定の議員数を削減しても、近隣市町と比較して決して 少なすぎるとい状況には陥らないと考えております。むしろ、人口や財政状況等々 が類似する他市の状況から見ても定数の削減が望まれるところであります。 まちづくりが着々と推進されている中であっても、人口は減少しつつある柏原市の 現状を勘案すると苦渋の選択と思いますが、議員の皆様には議員定数の削減につ いて以下をお願いするものであります。 1) 次回の柏原市議会議員選挙(令和7年9月執行予定)から、議員定数を4名削減 し、12名とすること 2) 議員定数の4名削減によって生み出された財源は、市民生活を支えるために活 用すること 地方自治法第124条の規定により上記のとおり請願書を提出致します。		

令和6年5月23日

柏原市議会議長 田中秀昭 殿

請 願 者

持続可能な柏原を考える会

共同代表

共同代表

共同代表

共同代表

共同代表



柏原市議会議員の議員定数の削減を求める請願書

1. 要 旨

柏原市議会議員の定数を、行政改革の一環として4名削減を求めます。

2. 理 由

柏原市議会では、令和6年3月22日、議員定数を2名削減し14名とする議員提出条例議案を賛成5反対10で否決されました。

現在の柏原市の財政状況、2025年問題に提唱される高齢者

比率の増加に伴う経費の増大、光熱費・人件費の高騰、人口減に伴う市税収入の減少等々の財政状況及び行政改革を考えると、市民の税金から報酬を受け取っている市議会議員においても、経費削減に向けて一定の努力をし、市民生活を下支えする財源の捻出に協力するのは当然のことではないでしょうか？

人口が類似する市よりも多い議員でなければならない合理的理由は全く見当たりません。

柏原市は市の面積は約 25 km² のうち 3 分の 2 が山間部であり人口に比べて行政面積が広大であるわけでもなく、一定の議員数を削減しても、近隣市町と比較して決して少なすぎるという状況には陥らないと考えております。むしろ、人口や財政状況等々が類似する他市の状況から見ても定数の削減が望まれるところであります。

まちづくりが着々と推進されている中であっても、人口は減少しつつある柏原市の現状を勘案すると苦渋の選択と思いますが、議員の皆様には議員定数の削減について以下をお願いするものであります。

- 1) 次回の柏原市議会議員選挙（令和 7 年 9 月執行予定）から、議員定数を 4 名削減し、12 名とすること
- 2) 議員定数の 4 名削減によって生み出された財源は、市民生活を支えるために活用すること

地方自治法第 124 条の規定により上記のとおり請願書を提出致します。

柏原市議会議員の議員定数の削減を求める請願書

<紹介議員>

柏原市議会議員 鶴田 将良

〃 山本 修広

〃 峯 弘之

〃 榊田 和之